



- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
正しく安全にご使用していただくために必ず、この取扱説明書をお読みください。

施工業者の方へのお願い

大切な書類です。施工後は必ずお客様にお渡しください。

本文中の **⊘ 禁止**、**⚠ 注意** の表示箇所は特に重要です。必ずお守りください。
守れない場合、思わぬ事故につながりケガをするおそれがあります。

⊘ 禁止

- 事故や故障の原因になりますので、むやみな改造、仕様変更はしないでください。
- ケガや事故の原因になりますので、製品を破損・故障・変形したままで使用しないでください。
- 破損や事故の原因になりますので、アーチの上に登ったり、桁にぶら下がったり、柱に寄りかかったりしないでください。又、柱や桁等に洗濯物を干したり、ブランコ等の遊具を取り付けしないでください。
- 火災の原因になりますので、火気を近づけないでください。
- 変形や変色の原因になりますので、有機溶剤や石油類を付着しないようにしてください。
- 高圧洗浄機は使用しないでください。
- 杉部分を舐めたり、噛んだりしないでください。
安全な材料を使用しておりますが、健康を害する恐れがあります。

⚠ 注意

- 杉部分が降雨時等で濡れた場合、まれに白いシミのような物が発生する場合があります。
これは塗膜内の界面活性剤が残っている場合に起こりますが、自然乾燥させることにより
白いシミは減少していきます。この部分は柔らかくなっておりますので、タオル等でふかないでください。
触らずに乾燥させることにより白いシミは消滅しますので、そのまま放置してください。
- 天然木のため、1枚1枚の個々の質感の差や色差・色ムラ・木目の差・多少の節があります。
- 自然有効活用の観点から、節の破損部はパテ埋めにて補修を行っております。



HaNaWoodアーチ

取付説明書

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様などの危害や損害を未然に防止するためのものです。表示記号の内容をよく確認したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
 注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれのある内容を示しています。

製品破壊、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

施工の前に

-  **注意** ●正しく施工・組付をするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 本製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

施工上のご注意

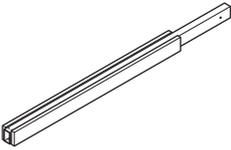
-  **注意** ●施工前に杉部分に太陽光を当てないでください。反りの恐れがあります。
- 施工前に杉部分を重ねて直接触れる状態、または濡れた状態で放置しないでください。杉と杉が引っ付くことがあります。杉部分を重ねる際には、間紙等を使用してください。
- 強い衝撃を与えないでください。変形やキズの原因となります。
- 杉部分塗装面は有機溶剤や石油類に侵されやすいので、付着しないようにしてください。
- 火気があると燃える可能性があります。火気は近づけないでください。
- 杉部分が降雨時等で濡れた場合、まれに白いシミのような物が発生する場合があります。これは塗膜内の界面活性剤が残っている場合に起こりますが、自然乾燥させることにより白いシミは減少していきます。この部分は柔らかくなっておりますので、タオル等でふかないでください。触らずに乾燥させることにより白いシミは消滅しますので、そのまま放置してください。
- 天然木のため、1枚1枚の個々の質感の差や色差・色ムラ・木目の差・多少の節があります。
- 自然有効活用の観点から、節の破損部はパテ埋めにて補修を行っております。

INDEX

INDEX	1
梱包明細表	1
各部名称 単体仕様	2
基本寸法図	3
●単体仕様	3
●連棟仕様	3
1.基礎工事	4
1.柱の建込み	4
2.本体の施工	4~6
1.アーチ桁への柱桁連結金具の取付	4
2.アーチ桁と柱の連結	5
3.アーチ桁蓋の取付とシーリング	6
4.アーチ桁下化粧杉の取付	6

梱包明細表

柱セット

名称 部材・部品	略図	員数
		基本・連棟タイプ H24
柱		1
柱桁連結金具		1
φ5×25ナベドリルネジ		5
φ5×16トラスタッピンネジ		5
アンカー棒		1
取扱・取付説明書		1

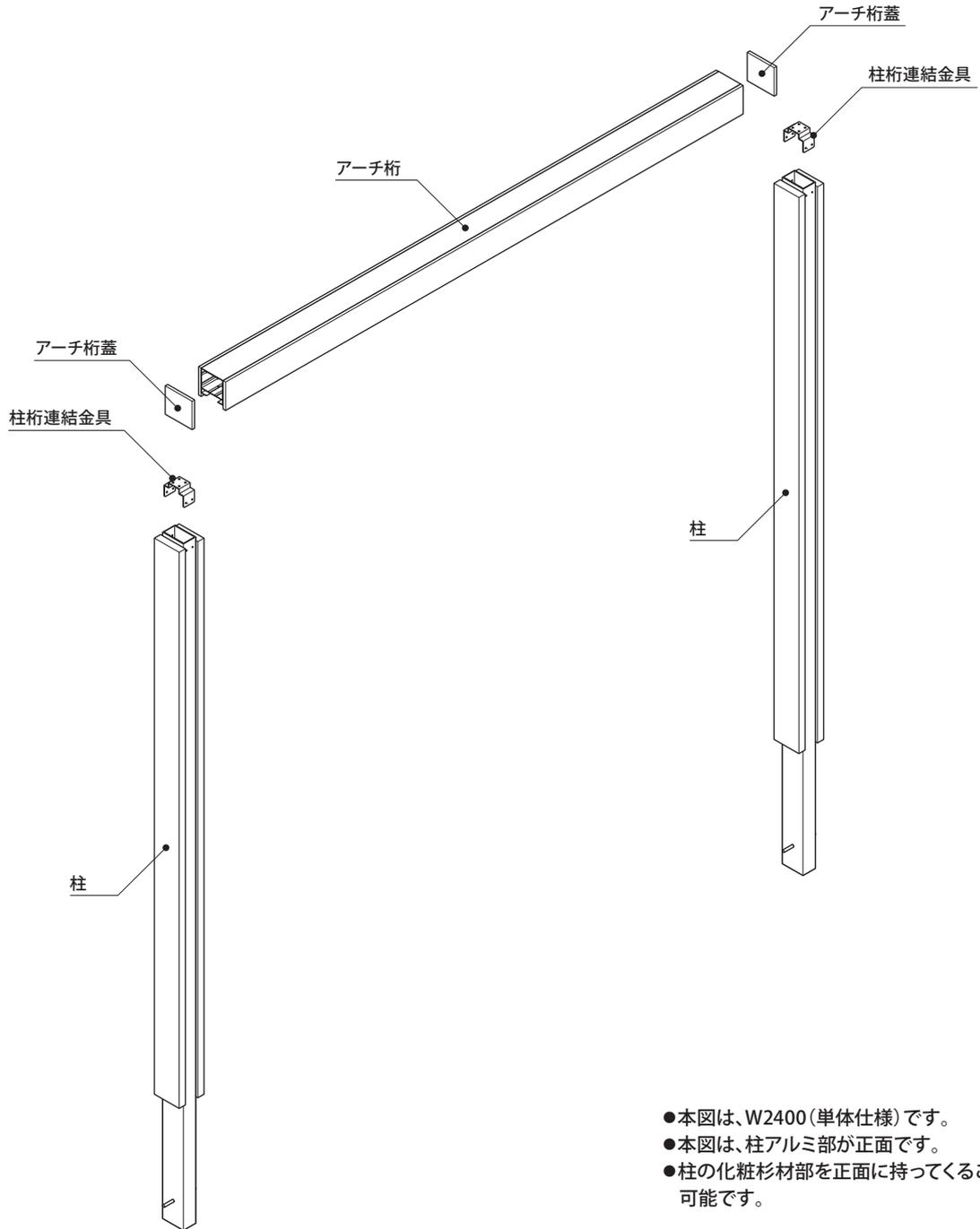
ご注意

- 開梱時に製品の種類と数量をご確認ください。
- 商品に異常がない事をご確認ください。

アーチ桁セット

名称 部材・部品	略図	員数											
		基本タイプ				連棟タイプ							
		W12	W18	W24	W28	W12 連棟(左)	W12 連棟(右)	W18 連棟(左)	W18 連棟(右)	W24 連棟(左)	W24 連棟(右)	W28 連棟(左)	W28 連棟(右)
アーチ桁		1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
連棟アーチ桁(左)		—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	1	—
連棟アーチ桁(右)		—	—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	1
アーチ桁下化粧杉		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
連棟アーチ桁延長スリーブ		—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	1	—
アーチ桁蓋		2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
φ4×25フレキ付サラドリルネジ		10	12	16	18	10	10	12	12	16	16	18	18
φ3.3×25スリムネジ		14	14	14	14	7	7	7	7	7	7	7	7

各部名称 単体仕様

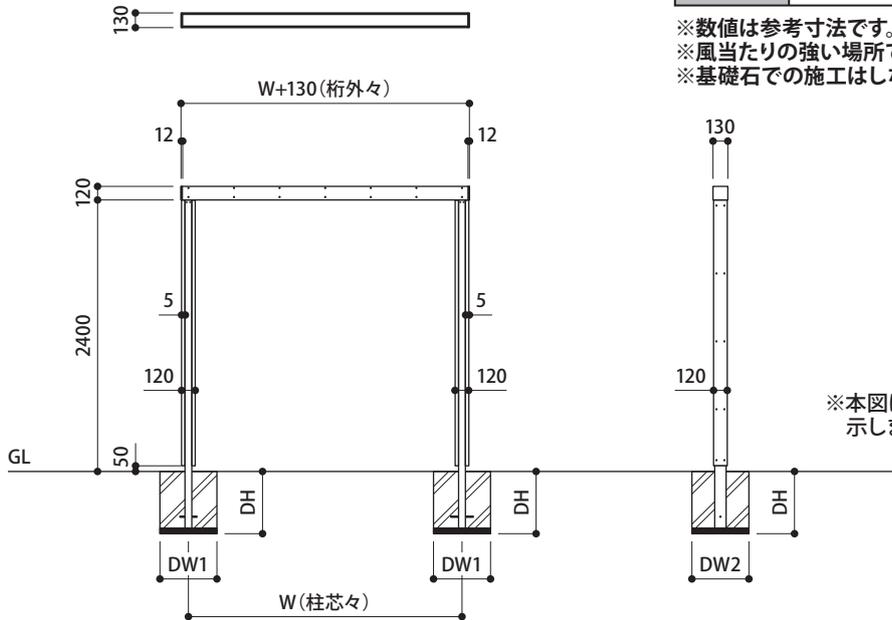


基本寸法図

単体仕様

■寸法表 (mm)

サイズ	W	DW1	DW2	DH
W12	1200	600	500	500
W18	1800			
W24	2400			
W28	2800			



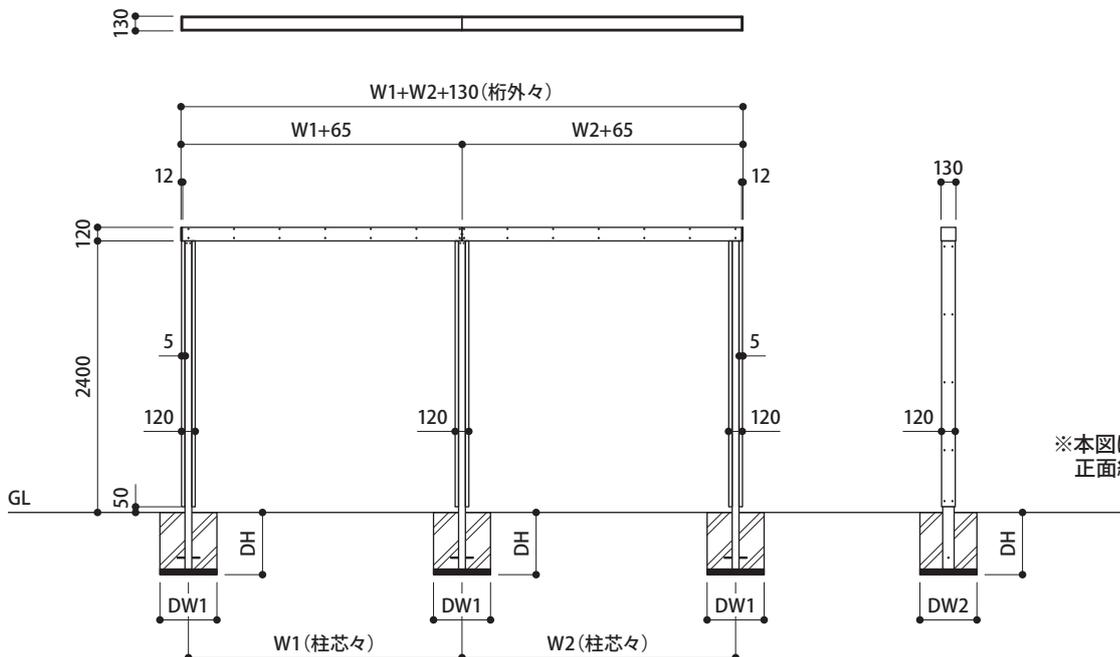
※数値は参考寸法です。保障値ではございません。
 ※風当たりの強い場所ではより強度のある基礎施工をしてください。
 ※基礎石での施工はしないでください。

※本図は、柱アルミ部正面納まりを示します。

連棟仕様

■寸法表 (mm)

サイズ	W1	W2	DW1	DW2	DH
連棟W12	1200	1200	600	500	500
連棟W18	1800	1800			
連棟W24	2400	2400			
連棟W28	2800	2800			

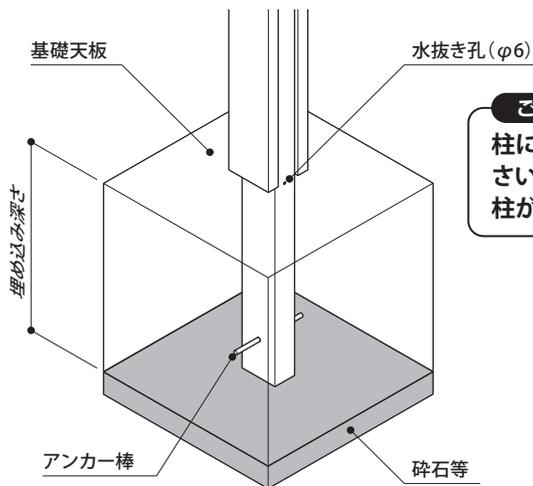


※数値は参考寸法です。保障値ではございません。
 ※風当たりの強い場所ではより強度のある基礎施工をしてください。
 ※基礎石での施工はしないでください。

※本図は、柱アルミ部正面納まりを示します。

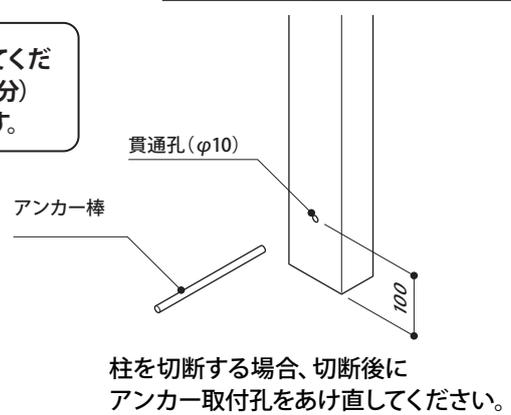
1.基礎工事

1.柱の建込み



ご注意
 柱に水抜き孔 (φ6) をあけてください。(基礎天板より上の部分)
 柱が破損する恐れがあります。

部材名	梱包名称
柱	柱セット
アンカー棒	



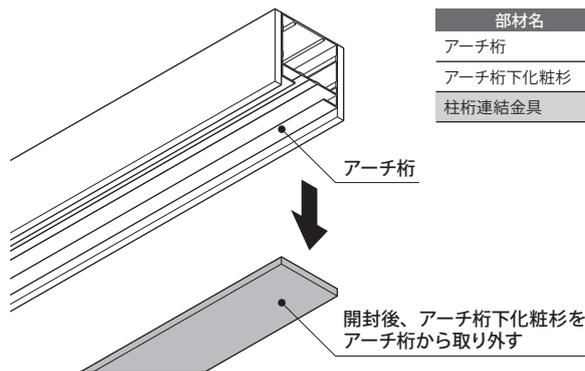
2.本体の施工

1.アーチ桁への柱桁連結金具の取付

1.アーチ桁下化粧杉の取外し

梱包開封後に、アーチ桁下面のアーチ桁下化粧杉を取り外します。

ご注意
 これは単体の場合となります。
 連棟の場合は、P.5を参照してください。

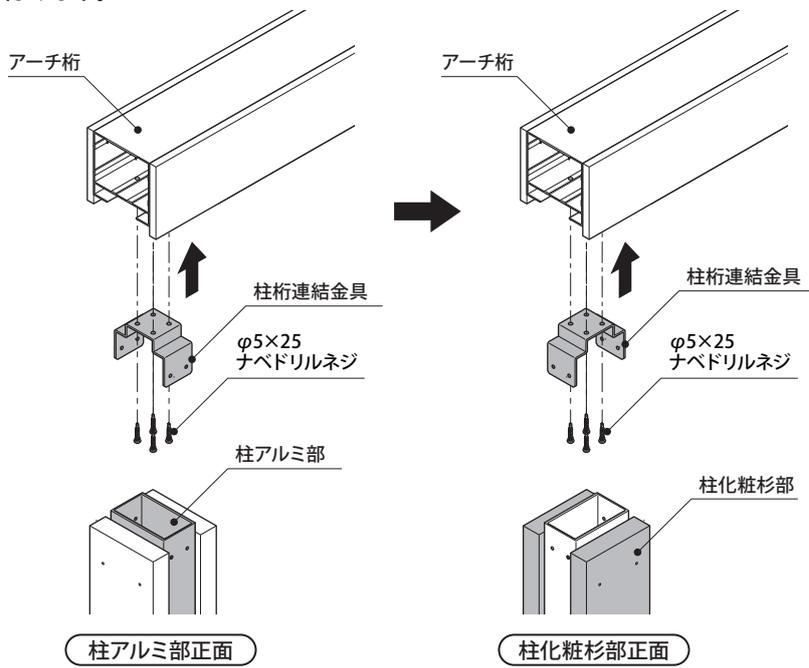
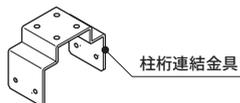


部材名	梱包名称
アーチ桁	アーチ桁セット
アーチ桁下化粧杉	
柱桁連結金具	柱セット

2.柱桁連結金具の取付

アーチ桁下面の下孔に合わせて、柱桁連結金具をφ5×25ナベドリルネジで取り付けてください。
 柱桁連結金具の向きで柱の設置向きが決まります。

ご注意
 柱化粧杉を正面に持ってくる場合、柱桁連結金具の向きを変えて取り付けてください。(右図参照)

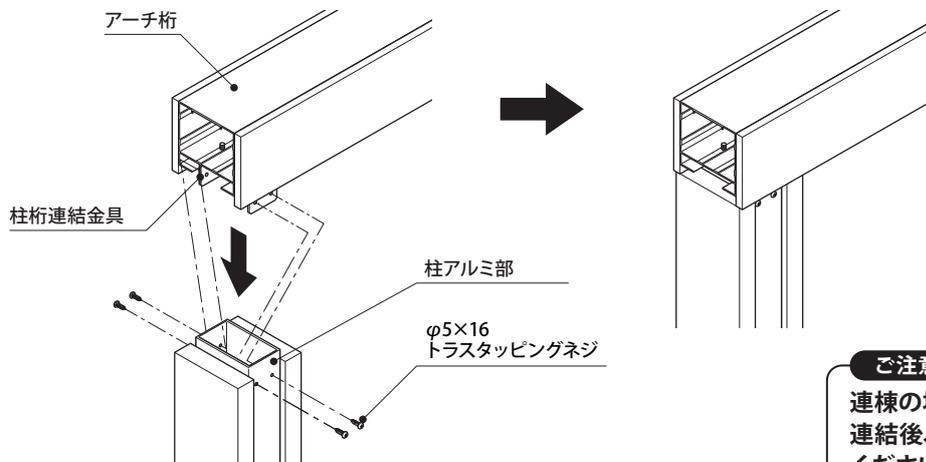


2.本体の施工

2.アーチ桁と柱の連結

1.単体・連棟端部の場合

- ① 柱アルミ部へアーチ桁両端に取り付けた柱桁連結金具を挿入し、 $\phi 5 \times 16$ トラスタッピングネジで取り付けます。



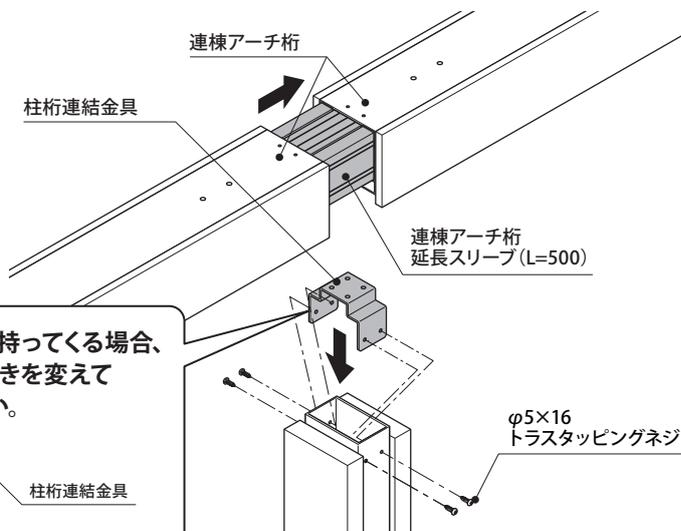
ご注意

連棟の場合は、先に桁延長スリーブで連結後、柱桁連結金具を取り付けてください。(P.5 下部参照)

2.連棟・連結部の場合

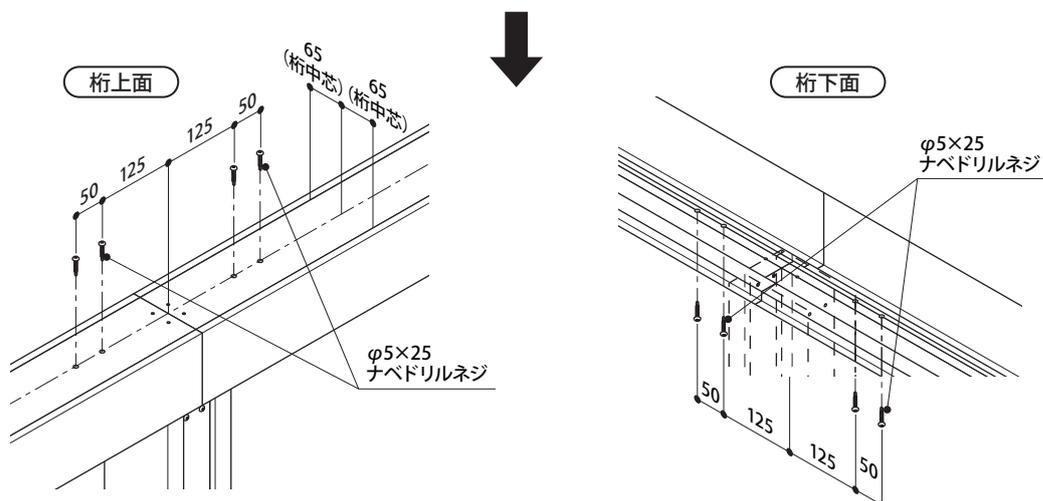
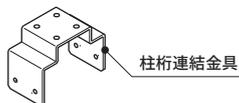
- ① 連棟アーチ桁の中間に連棟アーチ桁延長スリーブ (L=500) を挿入し、 $\phi 5 \times 25$ ナベドリルネジで連棟アーチ桁上面・下面両方から共締めします。
(その際、ねじ止め箇所には $\phi 3.5$ で下孔をあけます。詳細寸法は左下図を参照。)
- ② 柱桁連結金具が連棟アーチ桁2本と共締めになるので注意してください。
(左上図を参照) それ以外のネジや取り付け方法等は、単体と同じです。(P.4参照)

部材名	梱包名称
連棟アーチ桁 (左)	アーチ桁セット
連棟アーチ桁 (右)	
連棟アーチ桁延長スリーブ	



ご注意

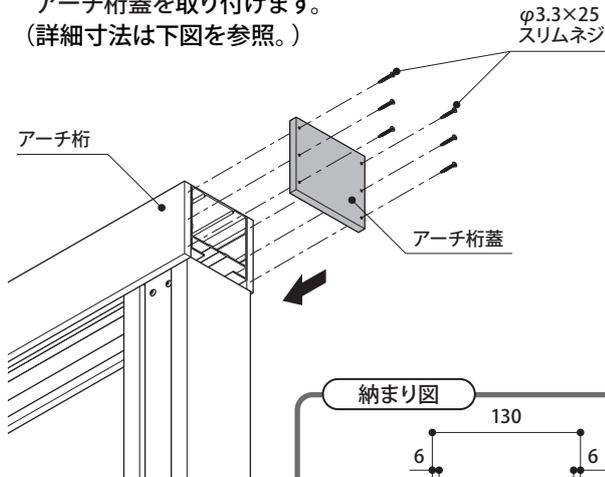
柱化粧杉を正面に持ってくる場合、柱桁連結金具の向きを変えて取り付けてください。



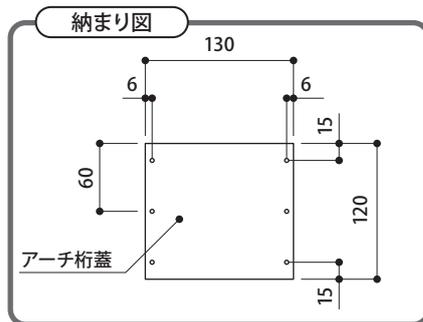
2.本体の施工

3.アーチ蓋の取付とシーリング

- ①アーチ桁への両端に、 $\phi 3.3 \times 25$ スリムネジでアーチ桁蓋を取り付けます。
(詳細寸法は下図を参照。)

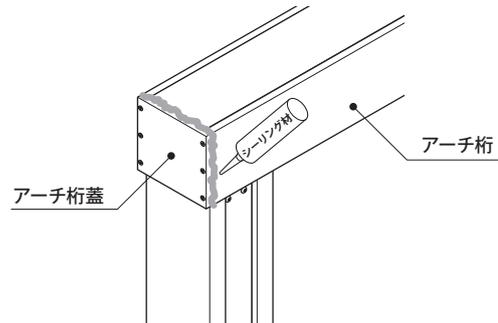


ご注意
ネジ足が出ないように
ご注意ください。



部材名	梱包名称
アーチ桁蓋	アーチ桁セット
$\phi 3.3 \times 25$ スリムネジ	

- ②アーチ桁とアーチ桁蓋のつなぎ目をシーリングします。



ご注意

アルミや柱化粧杉に付着しないように、
ご注意ください。

ご注意

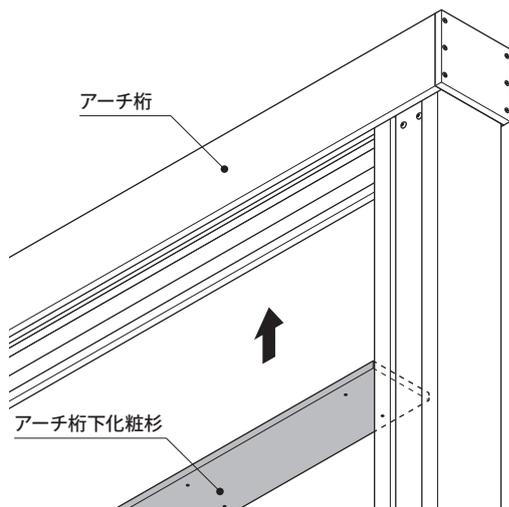
シーリングは、当社指定の脱アルコール系
シーリング材をご使用ください。

■シーリング材の推奨品

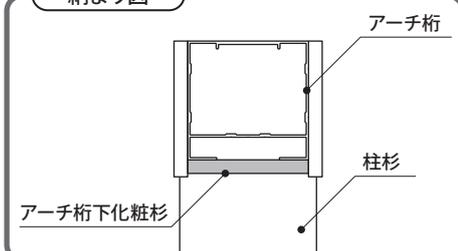
商品名	会社名
シーラント72	信越科学 (株)
トスシール380	モメンティブ・パフォーマンス・ マテリアルズ・ジャパン (株)
SE960	ダウ・東レ (株)

4.アーチ桁下化粧杉の取付

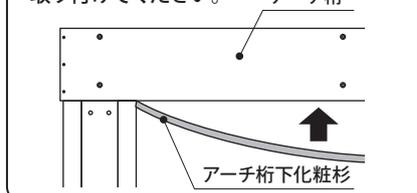
- ①桁下化粧杉をアーチ桁の下面に取り付けます。
アーチ桁下化粧杉のどちらかの端部を柱とアーチ桁の
間に挿入し、しならせるようにもう片方の端部も柱と
アーチ桁下へ挿入してください。



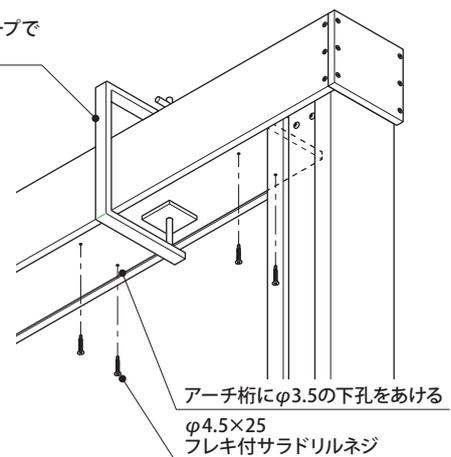
納まり図



アーチ桁下化粧杉を軽くしならせながら、
取り付けてください。



シャコ万カやテープで
仮固定



ご注意

$\phi 4.5 \times 25$ フレキ付サラドリルの
取り付け前に、必ず $\phi 3.5$ の下孔
をあけてください。

部材名	梱包名称
アーチ桁下化粧杉	アーチ桁セット